

平成23年度 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 業務実績評価(案) 新旧対照表

資料2

1 全体評価

項目	修正案	修正前（7月31日分科会）	修正理由
1 総評			
	<p>第二期中期目標期間の初年度を迎えた東京都立産業技術研究センターは、東日本大震災による新本部の被災状況を踏まえて移転日程を迅速に<u>練り直し</u>、本来業務である中小企業支援事業ならびに<u>前年度末に発生した東日本大震災に対する</u>復興支援事業において特筆すべき成果をあげた。</p>	<p>第二期中期目標期間の初年度を迎えた東京都立産業技術研究センターは、東日本大震災による新本部の被災状況を踏まえて移転日程を迅速に<u>練り直すとともに</u>、本来業務である中小企業支援事業ならびに復興支援事業において特筆すべき成果をあげた。</p>	<p>前回の分科会での意見を反映した修正</p>
	<p>加えて、「高度分析開発セクター」、「システムデザインセクター」、「実証試験セクター」という、複数の研究分野を横断した横串型の組織を立ち上げ、質の高い支援に取り組んだ点は、<u>大いに評価できる。</u></p>	<p>加えて、「高度分析開発セクター」、「システムデザインセクター」、「実証試験セクター」という、複数の研究分野を横断した横串型の組織を立ち上げ、質の高い支援に取り組んだ点は、<u>特筆に値する。</u></p>	<p>文章の意味を明確化するための修正（前段「特筆すべき」の重複表記を避けるため）</p>
	<p>以上のとおり、平成23年度の技術支援事業の<u>成果</u>は、地方独立行政法人化のメリットを活かし、経営陣の力が十分に発揮された結果と言える。</p>	<p>以上のとおり、平成23年度の技術支援事業は、地方独立行政法人化のメリットを活かし、経営陣の力が十分に発揮された結果<u>を出した</u>と言える。</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正</p>
	<p>さらに、<u>今後も中小企業支援の強化のため、設備の導入や更新を継続的に行うとともに</u>、コストダウンへのバックアップ等にも期待したい。</p>	<p>さらに、<u>中小企業の支援について、技術支援に加え、継続的な設備投資や</u>コストダウンへのバックアップ等にも期待したい。</p>	<p>文章の意味を明確化し、読み手に誤解を与えないための修正（修正前表記は、産技研の支援策が、中小企業の「設備投資」に対するものとの誤った読み方をする虞があるため）</p>
2 中小企業への技術支援・研究開発及び法人の業務運営等について			
技術支援	<p>高速造<u>形</u>機</p> <p><u>一方</u>、オーダーメイド開発支援事業は実績が大幅に増えており、機器利用だけでなく、高度化・多様化する新製品開発ニーズにきめ細かく対応する事業を拡大させている。知的財産については、出願、登録及び使用許諾<u>数</u> <u>ともに中期計画に掲げた目標の達成に向け着実な実施が認められる。また、製品開発支援ラボ及び共同研究開発室については、ラボマネージャーの配置等、ハード・ソフト両面からの様々な支援体制の確保を行っており評価できる。</u></p>	<p>高速造<u>型</u>機</p> <p><u>また</u>、オーダーメイド開発支援事業は実績が大幅に増えており、機器利用だけでなく、高度化・多様化する新製品開発ニーズにきめ細かく対応する事業を拡大させている。知的財産については、出願、登録及び使用許諾<u>率</u> <u>において前年を上回る実績をあげている。</u> <u>さらに、多摩テクノプラザや新本部の製品開発支援ラボにおいては、入居者に製品化の成果が出始めている。</u></p>	<p>誤字</p> <p>○より適切な表現とするための修正（平成22年度修正：取組の目標値としては、率より数が適切）</p> <p>○前回の分科会での意見を反映した修正</p>
研究開発	<p>5年間で特許出願48件、実用化5件、商品化6件の実績を上げた<u>こと</u>は高く評価できる。</p>	<p>5年間で特許出願48件、実用化5件、商品化6件の実績を上げた<u>事</u>は高く評価できる。</p>	<p>表記の統一</p>
産業人材の育成	<p>平成23年度は、震災復興技術支援フォーラムとして、節電や放射線対策をテーマとしたセミナーを開催した。<u>さらに</u>、中小企業において研究開発・製造技術の高度化を担う人材の育成支援を目的とした実践型高度人材育成講習会や、（略）</p>	<p>平成23年度は、震災復興技術支援フォーラムとして、節電や放射線対策をテーマとしたセミナーを開催<u>していることに加え</u>、中小企業において研究開発・製造技術の高度化を担う人材の育成支援を目的とした実践型高度人材育成講習会や、（略）</p>	<p>文章の意味を明確化するための修正</p>

項目	修正案	修正前（7月31日分科会）	修正理由
法人の業務運営等	この ほか 、事業別セグメント管理の導入、職員の採用・育成活動等、年度計画を着実に実施していると認められる。	この 外 、事業別セグメント管理の導入、職員の採用・育成活動等、年度計画を着実に実施していると認められる。	表記の統一
震災復興支援	さらに、都内中小企業の製品の放射線量測定や、都内中小企業や被災地企業を対象とした節電・省エネルギーに関する技術支援、東京都との協定に基づく大気浮遊塵及び都内農畜水産物、 浄水場水 等の放射線測定、冊子やリーフレットの発行による放射線・放射能の基礎知識等の情報提供等、様々な活動を実施した。	さらに、都内中小企業の製品の放射線量測定や、都内中小企業や被災地企業を対象とした節電・省エネルギーに関する技術支援、東京都との協定に基づく大気浮遊塵及び都内農畜水産物等の放射線測定、冊子やリーフレットの発行による放射線・放射能の基礎知識等の情報提供等、様々な活動を実施した。	より適切な表現とするための修正

2 項目別評価

項目	修正案	修正前（7月31日分科会）	修正理由
【項目1】 技術相談	今後 も 、件数の急増による質の低下を抑えつつ、ベテラン職員によるワンストップサービスの対応実績の数値化、（略）	今後 は 、件数の急増による質の低下を抑えつつ、ベテラン職員によるワンストップサービスの対応実績の数値化、（略）	文章の意味を明確化するための修正（「今後は、」の表現では、件数の急増において、質の低下があるかの誤解を与える虞があるため）
【項目4】 高度分析開発セクター	平成23年度は、開設初年度にも関わらず、中期計画目標比で利用実績を88%達成し、具体的な製品開発事例も見られており、新体制を順調にスタートさせたことは 年度計画を着実に実施していると認められる。	平成23年度は、開設初年度にも関わらず、中期計画目標比で利用実績を88%達成し、具体的な製品開発事例も見られており、新体制を順調にスタートさせたことは 評価できる。	確定した評価を踏まえた修正（評定B）
	今後は、 性能面を含めた 機器毎の 利活用 状況、依頼企業規模の確認等、よりきめ細かい実績の分析を踏まえたさらなる利用実績の向上に期待する。	今後は、 分析の質や、機器毎の利用 状況、依頼企業規模の確認等、よりきめ細かい実績の分析を踏まえたさらなる利用実績の向上に期待する。	文章の意味を明確化するための修正
【項目5】 システムデザインセクター	これまで産業技術研究センターの強みの一つであった 高速造形機 を中心に当セクターを設け、企業からのニーズの高い機器を中心に整備した結果、中期計画目標比で利用実績を168%達成したこと、具体的な成果事例も 出している ことは、高い評価に値する。	これまで産業技術研究センターの強みの一つであった 三次元造形 を中心に当セクターを設け、企業からのニーズの高い機器を中心に整備した結果、中期計画目標比で利用実績を168%達成したこと、具体的な成果事例も 輩出している ことは、高い評価に値する。	より適切な表現とするための修正「三次元造形」→「高速造形機」 文章の意味を明確化するための修正
	また、 高速造形機 を24時間 利用可能 とする等、地方独立行政法人化による工夫やメリットが見られることも高く評価できる。デザインや販路開拓は 中小企業にとって大きな課題 であり、今後、一層の利用実績向上及び成果発揮に期待する。	また、 機器使用時間 を24時間とする等、地方独立行政法人化による工夫やメリットが見られることも高く評価できる。デザインや販路開拓は 中小の泣き所の一つ であり、今後、一層の利用実績向上及び成果発揮に期待する。	より適切な表現とするための修正（24時間対応は、システムデザインセクター事業全てではないため）
【項目7】 製品開発支援ラボ、共同研究開発室	その他、現在満室となっている状況 だが 、今後利用希望企業の 増加に どのように 対応 していくかについて、 検討が必要である。	その他、現在満室となっている状況 で 、今後利用希望企業の 開拓等 をどのように 管理・運営 していくかについて、 配慮が必要と考える。	文章の意味を明確化するための修正

項目	修正案	修正前（7月31日分科会）	修正理由
【項目8】 実証試験セクター	ワンストップ体制の整備、講習会・セミナーによる利用拡大への取組、 ホームページを活用した機器利用可能情報の提供等 が奏功し、中期計画目標値を大幅に上回る利用実績を上げている。また、本セクターの利用による製品開発事例もあり、高く評価できる。	ワンストップ体制の整備、 ホームページを活用した機器利用可能情報の提供 、講習会・セミナーによる利用拡大への取組等が奏功し、中期計画目標値を大幅に上回る利用実績を上げている。また、本セクターの利用による製品開発事例もあり、高く評価できる。	前回の分科会での議論を踏まえた修正（ホームページ活用を前面に打ち出すことへの疑問）
	ホームページにより利用状況を確認できる仕組みは、職員の事務の省力化と利用者利便性向上に寄与するものであり、今後は 本セクター以外の部門にも 展開していくことが望まれる。	ホームページにより利用状況を確認できる仕組みは、職員の事務の省力化と利用者利便性向上に寄与するものであり、今後は 産業技術研究センターの他の事業へも 展開していくことが望まれる。	より適正な表現とするための修正（分科会意見は部門において実施している事業に対する意見）
【項目9】 中小企業振興公社等との連携、知的財産総合センターとの連携	知的財産総合センターとの連携については、今後更なる利用実績向上を 期待する 。	知的財産総合センターとの連携については、今後更なる利用実績向上に 努められたい 。	確定した評価を踏まえた修正（評定B）
【項目10】 特許出願及び使用許諾	今後も、 特許出願や使用許諾の件数の増加 を期待したい。	今後も更なる努力を期待したい。	文章の意味を明確化するための修正
【項目11】 国際規格対応支援	中国における国家規格への対応等、最近の国際経済状況も踏まえ、対応規格の検討が 望まれる 。	中国における国家規格への対応等、最近の国際経済状況も踏まえ、対応規格の検討 を行われたい 。	確定した評価を踏まえた修正（評定B）
【項目14】 コーディネーターによるマッチング、異業種交流会・業種別交流会・技術研究会の支援又は開催	今後、コーディネーターを積極的に活用し、中小企業とのマッチング 事業の拡大に期待する 。	今後、コーディネーターを積極的に活用し、中小企業とのマッチングに これまで以上に取組まれたい 。	確定した評価を踏まえた修正（評定B）
【項目15】 行政及び他の支援機関との連携	(略) 東京都との協定に基づく大気浮遊塵 等 の測定に (略)	(略) 東京都との協定に基づく大気浮遊塵の測定に (略)	より適切な表現とするための修正
【項目16】 基盤研究	(略) 今後は、基盤研究の枠組みの中で行うか、より積極的に別の枠組みを設ける方が良いかについては検討が必要 である 。	(略) 今後は、基盤研究の枠組みの中で行うか、より積極的に別の枠組みを設ける方が良いかについては検討が必要 と考える 。	文章の意味を明確化するための修正
【項目17】 共同研究	なお、中小企業との共同研究と、大学等との共同研究は、 目的が異なる場合もあることから、実施による効果等の把握 を確実にを行う必要がある。また、サービス分野、医療分野等への一層の展開を期待 する 。	なお、中小企業との共同研究と、大学等との共同研究は、 自ずと性格の異なる研究となる可能性があることから、その実施状況の把握 を確実にを行う必要がある。また、サービス分野、医療分野等への一層の展開に期待 したい 。	文章の意味を明確化するための修正
【項目19】 技術者の育成	今後は、利用者ニーズに合わせた開催内容に留まらず、 将来の社会情勢等を見据えた先見的なテーマに基づく講習会の開催 を期待する。	今後は、利用者ニーズに合わせた開催内容に留まらず、今後の社会情勢等を見据えた先見的なテーマ を利用者に示すということも 期待する。	文章の意味を明確化するための修正
【項目21】 情報発信・情報提供	(略) 極めて高い水準の成果を 収めている 。特に東京ビッグサイトでの大規模展示会に合わせた無料見学バスの運行等、(略)	(略) 極めて高い水準の成果を 収めており高く評価できる 。特に東京ビッグサイトでの大規模展示会に合わせた無料見学バスの運行等、(略)	文章の意味を明確化するための修正（「高い評価」の繰り返しを避けるため）
【項目22】 組織体制及び運営	今後、セクター機能が さらに発揮できるような組織運営を期待する 。	今後セクター機能が 充分発揮できるような組織運営状況の把握 が望まれる。	文章の意味を明確化するための修正

このほか、表記の統一のため、「取り組み」を「取組」へ変更